

Kurukuru



どーも。存在自体がよく知られていない環境班*1です。
今回は普段の活動以外のことをしようということで、9月13日に知多市リサイクルプラザに見学に行ってきました。
そこで、ここでは見学で印象に残った部分をPickupしてレポートしちゃいたいと思います。

知多市リサイクルプラザとは

知多市の施設で、資源の回収を行っている。集めた資源を各種業者に渡すために分別・保管をしている。

敷地面積は名古屋大学の約1,000分の1。*2

知多市では、市の住民と協力して、10年前からリサイクル活動を行っている。収集は月1回で、100世帯ぐらいの小地域ごとにとりまとめを行っている。

また、リサイクルによって得られたお金は、トイレトペーパーなどの形で住民に還元される。

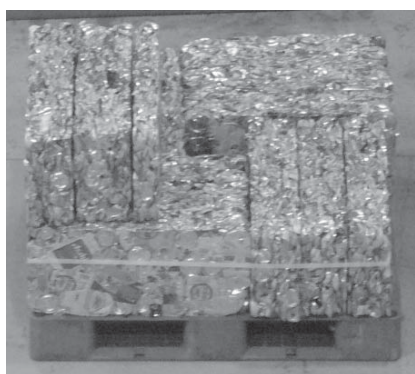


いざ、見学…?

のはずだったのですが、リサイクルプラザの職員さんの第一声が、「見学の趣旨がわからないのですが、どのようなものを見学したくていらしたのですか?」というのは痛かったです。*3

(こちらの事情を説明したあと、)知多市リサイクルプラザとはに書いてあるような説明を聞いて、施設見学をしました。

大学生相手だからでしょうか。雑誌がいくらで売れるとか、ペットボトルは中国に輸出すればお金になるとか、裏事情メインで解説してくれました。(もちろん、環境にかかわる話も聞いてきましたよ。*4)



アルミ缶の上にアルミ缶。(洒落になってない。) 1束1,500円ナリ。

職員さんへの質問コーナー

一通り見学を終えて、質問コーナーになったので、ここはエリート大学生であることをアピールしなければ。と、全員意気込んでいましたが、……相手はこの筋のプロです。レベルが段違いに上でした。いい勉強になりました。m(_ _)m

新聞・雑誌類。この大量の紙が樋口一葉の印刷された紙と交換されるとは、想像し難い。



牛乳パック回収報告

11/9 (木)に牛乳パック回収しました!! 回収量はなんと約20kg。

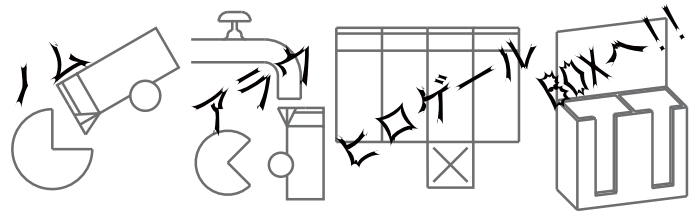
今後もみなさんが牛乳パックを持ってきてくれることを期待します☆



回収前の様子



回収後の様子



≈ ¥5000

環境班って？

総代・生協委員の有志が集まって、生協の中で環境にいい活動ができないかと模索している仲間です。主な活動は牛乳パック回収で、月に1回、北部厚生会館(北部購買・食堂)入口の回収BOXに集まった牛乳パックをリサイクル工場へ送るために荷造りをしています。



即興で描かれた環境班ロゴ。
ある班員がAdobe Illustratorを使い始めて数時間という**超初心者状態**で仕上げた品。
恥ずかしいロゴなのは言われなくてもわかっているが、**何故か誰も直そうとしない。**

文責：環境班

* 脚注 *

- *1 環境班は**環境班って？**で書いたように、牛乳パック回収BOXが満杯にならないようにするという大切な任務があるのです。
- *2 敷地面積 知多市リサイクルセンター :2754.29㎡(知多市リサイクルセンターパンフレットより)
名古屋大学:3,247,222㎡(http://www.nagoya-u.ac.jp/out/toukei/より)
- *3 まあ、確かに大学内でも知名度は無いに等しいから仕方ない。リーダーのシュウセイ君が「年1回の特別活動」を説明。
- *4 例えば、「ペットボトルはペットボトルに再生させる技術はあるけれど、コスト面の問題から布製品にして再利用している」とか。

『知』。同じ学部の人たちやバイト先の人たち、サークルの人たちや学生委員会のみんな…など、高校の頃では考えられないほど今年には多くの人たちに知り合うことができました。また、多彩な人たちと出会うことで、沢山の学問以外の知識を得ることができました。それらの意味を込めて『知』です。(ひっしい)